

かわら版

待遇の改善、正当な評価を！
この機会にご加入を！！

2023-5号 (2023/11/1)

東京大学教職員組合発行

TEL / FAX: 03-5841-7971 (ext. 27971)

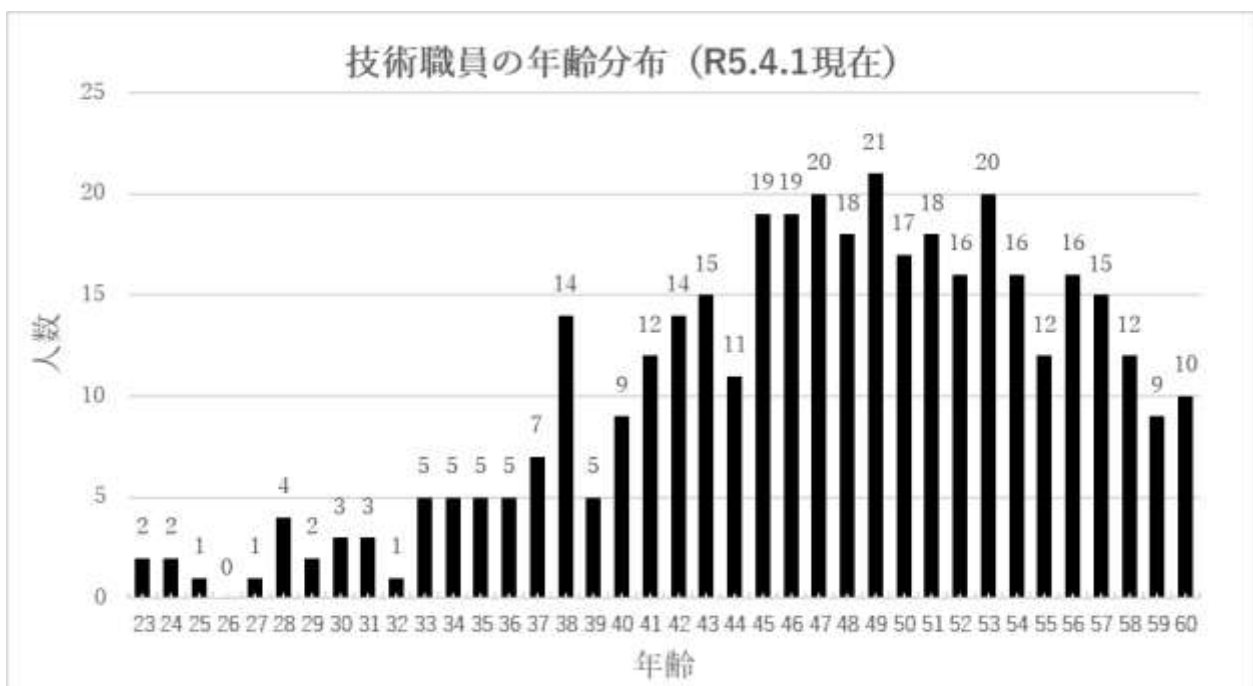
何かおかしいと感じたら syokikyoku@tousyoku.org まで

東職・賃金労働条件問題対策委員会の活動

昨年から新規メンバーの参入により部員の多くが交代となり活動を再開しました。本部及び人事部との昇格協議や団体交渉を複数回行い、特に技術職員における50歳を中心とした60歳までの昇格・昇任の遅れについて訴え、問題解決に向けて取り組んでいます。

技術職員の身分は「技術職員」、「技術専門職員」、「技術専門員」、「上席技術専門員」から構成されていますが、東京大学の技術職員の年齢構成（2023年度）を示した以下のグラフによると、49歳をピークとして、43～58歳の範囲で全体の8割以上を占めています。また、38歳の突出している部分はある時期の中途採用者が多かったと考えられますが、33歳以下の技術職員数は依然少ない傾向にある事から、今後も中途採用者で職員数を増やしていくものと思われます。技術職員はポストと級が連動したライン制となっており、上位のポストに就けないと昇級が困難となっている状況です。現在、50～60歳の技術職員の割合は6年前の10%台から40%台に上昇していますが、技術職員全体に対する技術専門員の割合が暗黙知となっており、技術専門職員から技術専門員への昇任が大幅に遅れていることが問題です。

これを解消するために技術職員については技術専門員のポストを一時的に増やす措置を求め、また事務職員については大幅なポスト増が難しい現状ですが、エキスパートなど新たなキャリアパスを利用し昇格・昇級の実現を求めて本部と現在も交渉中です。



本年度の昇格協議で、コロナ禍前までのように東職から昇格・昇任推薦名簿を提出することとなりました。年内に上席技術専門員、技術専門員、技術専門職員および2023年度末で6級昇格基準を満たし役職定年を迎える組合員を本部へ推薦する予定です。同様に事務職員、図書職員も対象として推薦する準備をしております。

また、令和5年度人事院勧告に基づき非正規職員給与のベースアップの実現も、本部に要求しています。

新規検討事項として、35歳以上で中途採用された職員の昇格・昇任の遅れの問題があります。4年を超える遅れが出ている場合もあるようです。一般的に中途採用者は、ポスドクや他企業から転職された方が多く、即戦力として高いスキルをもって業務をされているにも関わらず、これまでの経験年数が正当に評価されておられません。こうした不利益な待遇を改善するために現在対応策を検討中です。

その他、人事院勧告を根拠に在宅勤務手当などの新設も要求していくところです。また、職員の定年年齢引上げに関わる問題や年俸制の教職員等の待遇改善なども大きな課題となっております。

人事・給与面などで疑問や不安を感じたら、「東京大学」に対して唯一団体交渉権・団体行動権を持つ「東京大学教職員組合」にご相談ください。あなたと一緒に悩み解決に取り組めます。
(東職・賃金労働条件問題対策委員会)

～労働相談より～

昨年、ある部局の職員から寄せられた相談です。この方は、年度末で退職するにあたり残っていた有給休暇を退職前の2・3月でまとめて取得したいと上司に申し出たところ、「あなたが退職しないと、後任を新規募集できないので、有給休暇を消化せず、1月末に退職なさい」と、認められなかったとのことでした。

相談者との面談を行い、前任の上司は有給休暇消化を認めていたとのことでしたので、違法性があることを説明し根気強く上司を説得することを提案しました。その結果、時間を要しましたが退職前の有給休暇取得が認められました。

(東職・労働相談チーム)

**東京大学で働くすべての教職員の皆さん！
職員組合に入って、働きやすい職場を作りましょう**



東職は、本郷キャンパス第2食堂3階にあります。お気軽にどうぞ→